

# 平成21年度全国学力・学習状況調査【調査結果】 ー蓮田市の結果の概要についてー

蓮田市教育委員会

本調査によって測定できるのは、学力の特定の一部・一側面であり、全ての学力を表すものではありません。

このことを踏まえ、蓮田市の結果の概要についてお伝えします。

## 1 実施状況

(1) 実施期日 平成21年4月21日(火)

(2) 対象学年及び在籍数、調査人数

|         | 小学校6年生(人) |      | 中学校3年生(人) |      |
|---------|-----------|------|-----------|------|
|         | 在籍数       | 調査人数 | 在籍数       | 調査人数 |
| 国語 A    | 536       | 529  | 508       | 485  |
| 国語 B    | 536       | 529  | 508       | 485  |
| 算数・数学A  | 536       | 529  | 508       | 485  |
| 算数・数学B  | 536       | 529  | 508       | 485  |
| 児童生徒質問紙 | 536       | 529  | 508       | 485  |

## 2 学力・学習状況調査結果

(1) 教科に関する調査

|       |  |
|-------|--|
| 全体的傾向 | <ul style="list-style-type: none"> <li>21年度調査の本市の結果は、小学校6年ではほぼ全国、埼玉県平均正答率を上回り、中学校3年では全ての調査で全国、埼玉県平均正答率を上回っている。</li> <li>全国及び埼玉県のデータと同様、知識に関する問題に対して活用に関する問題の正答率が低くなっており、昨年度に続き、知識の活用に課題があることが分かる。</li> </ul> |
|-------|--|

### 【蓮田市と全国・埼玉県との比較の概要】

(平均正答率 単位%)

|     | 小学校6年 |       |       |       | 中学校3年 |       |       |       |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|     | 国語    |       | 算数    |       | 国語    |       | 数学    |       |
|     | A(知識) | B(活用) | A(知識) | B(活用) | A(知識) | B(活用) | A(知識) | B(活用) |
| 蓮田市 | 71.8  | 51.3  | 77.9  | 56.3  | 79.6  | 79.4  | 65.6  | 60.8  |
| 埼玉県 | 70.1  | 51.0  | 77.5  | 55.5  | 76.5  | 74.2  | 61.6  | 55.9  |
| 全国  | 66.9  | 50.5  | 78.7  | 54.8  | 77.0  | 74.5  | 62.7  | 56.9  |

**【国語A（主として知識）】**

| 学年・問題数・傾向  | ○：できていた内容  | ●：努力を要する内容   |
|--|--|--|
| <p><b>小学校6年生</b></p> <p>[問題数：18問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均やや正答率は高い。</p> | <p>○ 学習した漢字を正しく読む。</p> <p>○ 学習した漢字を正しく書く。</p> <p>○ 文学的な文章の表現の工夫をとらえる。</p> <p>○ 段落の内容を的確にとらえる。</p>  | <p>● ローマ字で表記されたものを正しく読む。</p> <p>● はがきの表書きに必要な事柄を選択する</p> <p>● 接続語を使って一文を二文に分けて書く。</p>            |
| <p><b>中学校3年生</b></p> <p>[問題数：33問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p>   | <p>○ 効果的なスピーチをするために話の展開の仕方を工夫する。</p> <p>○ 聞いた話の中に必要な情報が含まれているかを判断し、適切に質問する。</p> <p>○ 自分の意見を伝えるために、適切な材料を選ぶ。</p> <p>○ 目次の特徴の役割を理解する。</p> <p>○ 語句の意味を理解する。</p> <p>○ 辞書を活用して、語句の意味を適切に書く。</p> <p>○ 辞書に書かれている情報を適切に読み取る。</p> | <p>● 自分とは異なる立場の意見を取り入れて、説得力のある文章を書く。</p> <p>● 文脈に即して漢字を正しく書く。</p> <p>● 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。</p> |

**【国語B（主として活用）】**

| 学年・問題数・傾向  | ○：できていた内容  | ●：努力を要する内容   |
|--|--|--|
| <p><b>小学校6年生</b></p> <p>[問題数：10問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率はやや高い。</p> | <p>○ 目的に応じて、事象や意見などを関係付けながら書く。</p> <p>○ 話し手の立場や意図をとらえて聞く。</p> <p>○ 自分の立場や意図を明確にして話し合う。</p> <p>○ 筆者の表現の工夫に着目して読む。</p> | <p>● 筆者の考えを自分の言葉で書き換えたり要約したりして書く。</p> <p>● 作戦カードをもとに目的や意図が伝わるように必要な情報を取り出す。</p> <p>● 作戦カードをもとに目的や意図が伝わるように話の組み立てを工夫しながら説明する。</p> |

|  |  |   |
|--|--|---|
| <p><b>中学校3年生</b></p> <p>[問題数：11問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書かれている内容をとらえ、資料に基づいて自分の考えを説明する。</li> <li>○ 表現の仕方や文章の特徴をとらえる。</li> <li>○ 資料に表れている工夫を自分の表現に役立てる。</li> <li>○ 文章から必要な情報を読み取り、簡潔にまとめて書く。</li> <li>○ 語句に注意し、その効果的な使い方に気付く。</li> <li>○ 詩の表現の仕方に注意して内容をとらえる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 文章の展開をとらえ、段落の役割を理解する。</li> </ul> |
|--|--|---|

**【算数・数学A（主として知識）】**

| 学年・問題数・傾向  | ○：できていた内容  | ●：努力を要する内容   |
|--|--|--|
| <p><b>小学校6年生</b></p> <p>[問題数：18問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率はやや低い。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小数の除法の計算をする。</li> <li>○ 四角形の4つの角の大きさの和を求めることができる。</li> <li>○ 平行四辺形の向かい合う辺の長さが等しいという性質を理解している。</li> <li>○ 三角形の面積を求めることができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 数直線から数を読み取る。</li> <li>● 数の構成について理解ができる。</li> <li>● 整数の中から偶数を選ぶ。</li> <li>● 長方形、直角三角形の定義や性質を理解する。</li> <li>● 百分率を求める。</li> <li>● 資料を2つの観点から分類整理し、表を用いて表す。</li> </ul> |
| <p><b>中学校3年生</b></p> <p>[問題数：33問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 比の意味を理解している。</li> <li>○ 文字の値が負の整数の時に、文字式の値について考察する。</li> <li>○ 等式の性質と移項の関係を理解している。</li> <li>○ 一次方程式をつくるために、着目する数量を答える。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 単項式どうしの乗法の計算をすることができる。</li> <li>● 等式を目的に応じて変形することができる。</li> <li>● 係数に分数を含む一次方程式を解くことができる。</li> <li>● 具体的な事象で2つの数量の関係が反比例の</li> </ul>                                |

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平行四辺形が線対称か点対称かを選ぶ。</li> <li>○ 作図と線分の垂直二等分線について理解している。</li> <li>○ 扇形の面積を求めることができる。</li> <li>○ 同位角の意味を理解している。</li> <li>○ 二等辺三角形の2つの底角が等しいことを理解している。</li> <li>○ 比例の関係を表す表の特徴を理解している。</li> </ul> | <p>関係になることを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 傾き及び切片の値とグラフとの対応から一次関数のグラフの特徴を理解している。</li> </ul> |
|--|---|--|

**【算数・数学B（主として活用）】**

| 学年・問題数・傾向  | ○：できていた内容  | ●：努力を要する内容  |
|--|--|---|
| <p><b>小学校6年生</b></p> <p>[問題数：14問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率はやや高い。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図形を見出し、長さを求めるために必要な情報を選択し、求め方を式に表すことができる。</li> <li>○ 実験を基に筋道を立てて考え、重さの範囲を記述し、当てはまる重さを選択することができる。</li> <li>○ 与えられた条件に合う時刻を、筋道を立てて考え、時刻表から選択することができる。</li> <li>○ グラフの特徴をもとに、数量の変化の様子をとらえることができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 示された部分の長さを直接測らなくても調べられる理由を、図形の性質を基に考えることができる。</li> <li>● 整数と小数の加法を用いて、重さを求めることができる。</li> </ul> |
| <p><b>中学校3年生</b></p> <p>[問題数：15問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事柄の特徴を的確にとらえ、数学的な表現を用いて説明することができる。</li> <li>○ 事象を数学的に解釈することができる。</li> <li>○ 表から必要な情報を読み取ることができる。</li> <li>○ 証明を振り返って考え</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 不確定な事象について予想を実験で確かめるための方法を考えることができる。</li> </ul>  |

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <p>ることができる。</p> <p>○ 証明の方針を立てることができる。</p> <p>○ 事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明することができる。</p> |  |
|--|---|--|

(2) 児童・生徒質問紙調査 (全国平均と比較して ○良好 △課題)

|  |   |
|--|---|
| <p>小学校6年生</p> <p>全体的傾向</p>                       | <p>○ 基本的な生活習慣の定着や国語、算数に対する意識と、教科に関する調査の正答率の間に関連が見られる。</p> <p>○ 携帯電話の使用時間、家庭学習をする時間、地域の行事への参加において、意識を高める必要がある。</p> <p>○ 小・中の系統的な生活習慣や学習習慣の定着が大切なポイントであり、学校・家庭・地域社会の連携が今後の鍵である。</p>   |
| <p>具体的傾向</p> <p>全国平均と比較して</p> <p>○良好<br/>△課題</p> | <p>○ 学校に持っていくものを、前日かその日の朝に確かめている児童は、多い。</p> <p>○ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている児童は、多い。</p> <p>○ 毎日、同じくらいの時刻に起きている児童は、やや多い。</p> <p>○ 難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している児童は、やや多い。</p> <p>○ 自分には良いところがあると思っている児童は、やや多い。</p> <p>○ 普段、早起きの児童が多い。</p> <p>○ 普段、早寝の児童が、やや多い。</p> <p>△ 携帯電話の使用時間は、やや長い傾向にある。</p> <p>△ 学校が休みの日に勉強を一定以上している児童の割合は若干少ない。</p> <p>○ 家族と夕飯を一緒に食べている児童は多い。</p> <p>○ 家の人と学校での出来事について話している児童は多い。</p> <p>○ 家の手伝いをしている児童は多い。</p> <p>○ 家で学校の宿題をしている児童は、多い。</p> <p>○ 家で学校の授業の予習をしている児童は、やや多い。</p> <p>○ 学校で友達に会うのが楽しいと思う児童は多い。</p> <p>△ 地域の行事に参加している児童は若干少ない。</p> <p>○ 学校のきまりを守っている児童はやや多い。</p> <p>○ 新聞やニュースに関心のある児童は、やや多い。</p> <p>○ 今、住んでいる地域の歴史や自然に関心がある児童は、やや多い。</p> |

|  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめはどんなことがあってもいけないと思う児童はやや多い。</li> <li>○ 友達との約束を守っている児童はやや多い。</li> <li>○ 近所の人に会ったときはあいさつをしている児童は、やや多い。</li> <li>○ 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童は多い。</li> <li>○ 人の役に立つ人間になりたいと思う児童はやや多い。</li> <li>△ 原稿用紙 2～3 枚の文章を書くことを難しいと思う児童はやや多い。</li> <li>○ 国語の勉強が好きな児童は、やや多い。</li> <li>○ 国語の授業が将来役に立つと思う児童は多い。</li> <li>△ 算数の勉強が好きな児童は、大多数ではない。</li> </ul>  |
| <p style="text-align: center;"><b>中学校 3 年生</b></p> <p style="text-align: center;"><b>全体的傾向</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校と同様に、規則正しい生活習慣や学習習慣と、教科に関する調査の結果の間に大きな関連が認められる。</li> <li>○ 携帯電話の使用時間、地域の行事への参加、規範意識、他の人を尊重し思いやる心において意識を高める必要がある。</li> <li>○ 小・中の系統的な生活習慣や学習習慣の定着を図る取組を始める必要があり、学校・家庭・地域社会の連携が大切である。</li> </ul>  |
| <p style="text-align: center;"><b>具体的傾向</b></p> <p>全国平均と比較して</p> <p>○ 良好</p> <p>△ 課題</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校に持っていくものを、前日かその日の朝に確かめている生徒は、やや多い。</li> <li>○ 朝食を毎日食べている生徒はやや多い</li> <li>○ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている生徒は、やや多い。</li> <li>△ 失敗を恐れなくて挑戦している生徒は若干少ない。</li> <li>△ 自分には良いところがあると思っている生徒は、若干少ない。</li> <li>○ 普段、早起きの生徒はやや多い。</li> <li>△ 普段、夜遅くまで起きている生徒は、若干多い。</li> <li>○ テレビやビデオ・DVDを見る時間は、やや少ない。</li> <li>○ テレビゲームをする時間は、やや少ない。</li> <li>△ 携帯電話の使用時間は、やや長い傾向にある。</li> <li>○ 家庭学習をする時間は、やや多い。</li> <li>○ 読書時間は、やや多い。</li> <li>△ 家で自分で計画を立てて勉強をしている生徒の割合は若干少ない。</li> <li>△ 普段、家の人と夕飯を一緒に取る生徒は、やや少ない。</li> <li>△ 家の手伝いをする生徒は、全員ではない。</li> <li>△ 家で学校の宿題をしている生徒は、全員ではない。</li> <li>△ 家で学校の授業の予習をしている生徒は、多くはない。</li> <li>△ 今住んでいる地域の行事に参加している生徒は、大多数ではない。</li> </ul> |

- △学校のきまりを守っていない生徒が、少数いる。
- △友達との約束を守っている生徒は、全員に近いとはいえない。
- △人が困っている時に進んで助ける生徒は、全員に近いとはいえない。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う生徒は、多い。
- △国語の勉強が好きな生徒は、やや少ない。
- 国語の勉強が大切だと思う生徒は、やや多い。
- 読書が好きな生徒は、やや多い。
- 数学の勉強が大切だと思う生徒は、やや多い。

### 3 今後の予定

|        |  |
|--------|--|
| 市教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校用分析支援プログラムを活用し、市全体の児童生徒の実態を国や県の実施した様々な調査のデータから分析し、種々の相関関係から導かれる教育の方向性を定める。</li> <li>○市ホームページや学校だよりを通じての適切な情報の発信を行い、課題意識を学校・家庭・地域が共有する。</li> <li>○学校課題に沿った PTA、学校応援団、親父の会、放課後子ども教室などの活動を実施して、学校の教育活動を側面から支援する。</li> <li>○機会を捉え、啓発的情報をあらゆる機会を捉え随時発信し、家庭の教育力の向上に寄与していく。</li> <li>○ゲストティーチャーの拡充や、地域の県立高校や大学と連携などを通じて、補充的な学習の指導を土曜日に学校施設を利用して行えるよう条件整備をする。</li> <li>○年次研修に加え、2～4年経験者を対象とした若手教員研修を実施し、授業力の向上を図る。</li> <li>○国の調査の結果から特に課題の見られた学校に対しては、指導主事の派遣を通年で行うなど、重点的に授業改善の取り組みを支援していく。</li> <li>○各学校が作成する年間計画の立案の段階から情報の提供と平行して適切な指導を複数回行う。</li> <li>○学期末の教育課程の見直し、土曜日の活用などを検討し、各学校が基礎基本の反復や発展的な学習にまで指導の時間が確保できるような時間を保証する。</li> </ul> |
|--------|--|

|        |   |
|--------|---|
|        |   |
| 各小・中学校 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自校の調査結果を分析・考察し、学校の教育活動や学習指導の改善に役立てる資料として活用していく。</li> <li>○授業中における学習規律を徹底するとともに、教科会や学年会を中心に学習指導法の工夫を行い、子どもたちに達成感を味わわせることができるような「分かる授業」を展開する。</li> <li>○指導者を招いた授業研究会を積極的に行い、教師一人ひとりの指導技術の向上を図る。</li> <li>○児童生徒のつまずきに対し、休み時間や放課後、長期休業等を利用して補修授業等(サマースクールを含む)を行い、個に応じた指導を展開し、苦手教科の克服に努める。</li> <li>○授業公開や保護者会、学校だより等を利用し、望ましい生活習慣や学習習慣の定着、地域の行事への参加等について、家庭や地域に積極的に働きかけ、三者の連携による教育を推進する。</li> <li>○個人面談等を利用して、学校の学習状況結果とともに個人調査の結果を配付し、児童・生徒一人ひとりの課題、つまずきや活用能力を、児童・生徒や保護者がしっかり捉えることができるよう、解決のための具体策を共に考え、指導に生かしていく。また、学力だけに目を向けるのではなく、生活習慣や家庭学習の仕方等、基本的な生活習慣を含めた教育のあり方を保護者と共に考え、家庭との連携方法についても検討していく。</li> </ul> |

## 家庭・地域社会

- 家庭での過ごし方は、学力向上に大きな影響があることを理解し、わが子の生活習慣（携帯電話やテレビやテレビゲームの時間等）について改めて考えるとともに、その改善方法について、家庭でよく話し合う。
- わが子の学習面でのつまずきを把握するとともに、学校からのアドバイスをもとに、解決方法を家庭でよく話し合い、家庭学習を中心に取り組んでいく。
- 子どもの躰は家庭で行うことを自覚し、「早寝・早起き・朝ご飯」の実践をはじめ、挨拶や返事、翌日の学習準備等の基本的な生活習慣や、社会生活を営む上でのルールやマナーの育成等、家庭で教えるべきことに責任を持つ。
- 「地域の子どもたちは、地域で育てる」を合言葉に、家庭と地域の連携による清掃活動や奉仕活動等を実施し、子どもたちが「働くこと」や「お手伝い」を通して、地域の大人と共有する時間を設け、規範意識や勤労意欲を育てていく。
- 「ノーテレビ、ノーゲーム、ノー携帯デー」の実施を検討し、推進していく。